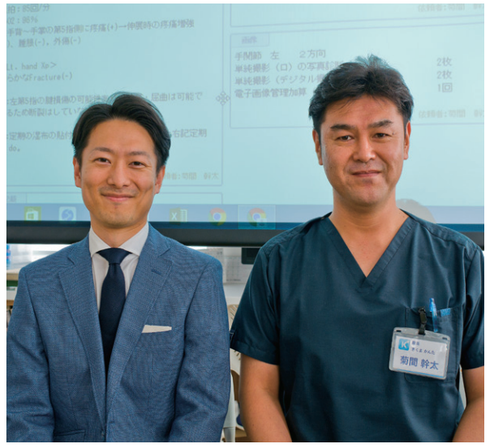
在宅医療に対応したクラウド型電子カルテでストレスフリーの患者情報管理を実現

セコム医療システム株式会社

SECOM MEDICAL SYSTEM

日本有数のセキュリティ会社として知られるセコムグループ。「あらゆる不安のない社会」への貢献のため、医療・介護・健康分野においても高品質なサービスを提供している。今回は同社の電子カルテについて、開業と同時に導入した「かんた内科医院」の菊間氏・廣津氏に伺ってみた。



事務長
廣津 諭氏

かんた内科医院　院長
菊間 幹太氏

2000年／福岡大学医学部 卒業、福岡大学筑紫病院 内科・消化器科 入局
2001年／久留米大学病院高度救命救急センター 助教
2004年／秦病院 常勤医
2012年／福岡大学大学院医学研究科 博士課程終了
2013年／薬院内科循環器クリニック副院長
2014年／原土井病院 内科・緩和ケア部長
2016年／かんた内科クリニック 開院

在宅診療の使い勝手に配慮したセコムのOWELを選ぶ

同医院には菊間氏・廣津氏の他に、4名の看護師、2名の事務スタッフが在籍。菊間氏の方針で訪問診療に看護師や事務スタッフが同行するなど、医院の全員が患者の情報を共有するよう努めている。

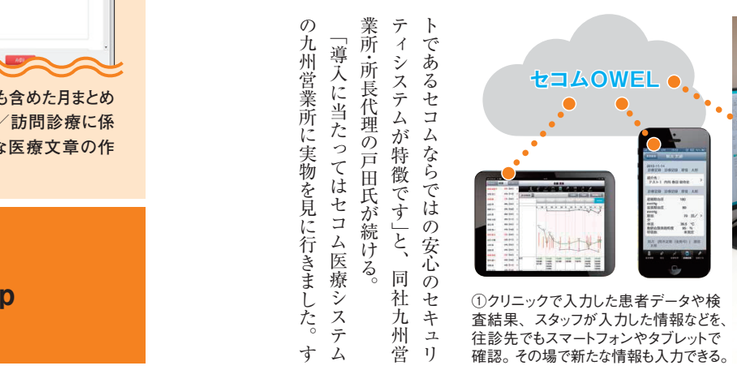
「診療現場を見ることで、事務スタッフは患者さんと算定を結びつけることができます。また、普段から患者さんと顔見知りになっておけば、私が訪問診療で留守の際の対応もスムーズになります」と菊間氏。

そんな菊間氏の診療をサポートするのが、開院時に導入した、在宅診療に対応したセコムのクラウド型電子カルテOWELだ。

「OWELは小規模診療所や在宅クリニックに特化し、医師や事務員を問わず、どなたでも扱いやすい医事会計システムを一体化したクラウド型の電子カルテです」と、セコム医療システム九州営業所の大六野氏。

「専用の機器の導入が不要で、紙カルテと同じ感覚で直感的に操作できます。診療中に会計内容が確認でき、レセプトの確認や修正も簡単。介護請求にも対応しています。そして、セキュリティのスペシャリストであるセコムならではの安心のセキュリティシステムが特徴です」と、同社九州営業所・所長代理の戸田氏が続ける。

「導入に当たってはセコム医療システムの九州営業所に実物を見に行きました。すっきりしていて全てがスクロールで見られる画面が好きです。在宅診療に必要な書類に対応していること、クラウドの使い勝手の良さを実感し、迷わずOWELに決めました」というのが、菊間氏の決定理由だ。



①クリニックで入力した患者データや検査結果、スタッフが入力した情報などを、往診先でもスマートフォンやタブレットで確認。その場で新たな情報も入力できる。

在宅診療の必要性を実感し地域に親しまれるクリニックを開院

消化器内科、ドクターヘリを含む救急医療を中心とした大学病院勤務を経て、地域医療に携わるようになった内科医の菊間氏。「かかりつけ医」として地域密着の外来診療を行うなかで、仕事を休んで通院の付き添いをしている高齢患者の家族の「医者が来てくれればいいのに」という声や、「最後は自宅で過ごしたい」といった患者の切実な声に接し、訪問診療・在宅医療、在宅ホスピスの必要性を感じるようになったという。

そんな折り、社会福祉法人悠生会が大規模デイケアセンターなどの複合高齢者福祉施設を建てるに際し、その一角での開院を打診され、2016年に外来と在宅医療・緩和ケアの医院を立ち上げた。

専門機器もサーバー管理も不要。どこでも・誰もが使える設計

同医院では、外来で診察した内容はデスクトップパソコンで電子カルテに入力。訪問先へはノートパソコンを持参し、電子カルテにアクセス。急ぎの連絡があった場合はタブレットやスマートフォンでもデータの確認ができる。訪問先でスマートフォンを使い患部の写真を撮り、カルテに反映することも簡単だ。外から処方箋を入力すれば、スタッフが出力し同じ建物内の薬局に届けてくれる。スタッフの中には電子カルテ未経験者もいたが、画面を見れば操作のイメージがしやすい設計のため、すぐに慣れたそうだ。何かあれば電話相談センターに問い合わせれば回答してくれる。

「看護師や受付事務が患者さんとの雑談のなかで伺った内容を書き込んでくれます。また、撮影したばかりのレントゲンデータをスタッフにアップしてもらい、患者さん宅でそれを見ながら説明したりもしています。このスピード感が良いですね」と菊間氏。

前職で病院のサーバー管理を担当し、メンテナンスに苦労した経験がある廣津氏は、「医院内に専用のサーバーを置かなくて良いので、メンテナンスをしなくて済むため非常に助かります。診療報酬の改定などがあっても、カルテの設定はセコムさんがしてくれるので楽ですね」と言う。

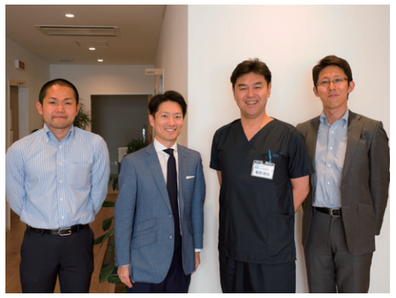
モール型医療施設の提案で利便性と集患率の向上を図る

開院以来、医院に宿泊して親身に患者対応にあたる菊間氏。1年経たずして「かんた先生」として地域の人々に頼られ親しまれる存在となった。高齢の患者に、「先生、どっか行ったりせんよね」と聞かれることもあるそうだ。

「通院が可能な方はリハビリをかねて通っていただいていますが、下肢機能や認知機能が低下し通院できなくなったら、こちらから出向いて診察を行います。最後まで〝伴走者〟として、一人ひとりの患者さんに寄り添いたいと思います」と菊間氏。

「近所のお兄さんがたまたま医師だった、という感覚で来ていただければ」と、廣津氏。熱心な診療と敷居の低い気さくな2人の人柄に、開院以来「かんた内科医院ファン」が増えている。

そして、OWELも、そんなかんた内科医院の一員として、地域密着医療を支える力になっている。



菊間氏・廣津氏を囲んで。セコム医療システム株式会社 ソリューション本部 九州営業所 戸田昌吾氏（右端）、大六野健吾氏（左端）

セコムならではの安心。クラウド型電子カルテOWEL

「在宅医療を行うクリニックには当社のOWELをお勧めします。クラウド型はセキュリティが気になる方もいらっしゃるかもしれませんが、セキュリティの専門家である私たちセコムでは、大切な患者様の情報保護のため万全の体制を敷いています。データは厳重なセキュリティがかけられたセコムのセキュリティセンターで保存。接続は暗号化通信で安心です。端末に個人情報が残らないため、万が一出先でデバイスを置き忘れても情報が漏れることはありません。まずはお気軽にご相談ください」

セコム医療システム株式会社 ソリューション本部 九州営業所 所長代理　戸田昌吾氏

低コスト
専門のサーバや機器は不要。保守費や端末ライセンス費もかからない。

導入が容易
お手持ちのパソコンなどからクラウドに接続するだけなので、素早い稼働対応が可能。

システム維持不要
診療報酬改定への対応、システムのバージョンアップ、機器の更新が不要。

インターネット利用
外出先で利用可能。災害時でも、インターネット接続ができればどこでも診療開始できる。

多様な利用形態
Windows、Mac OS対応。iPad、Androidタブレットやスマートフォンでの利用が可能。

簡単操作
パソコン慣れしていない人にも使いやすいシンプルな操作性。ヘルプガイドや動画マニュアルも。

OWEL在宅医療向け機能

往診スケジュールの簡単作成／介護費用も含めた月まとめ請求機能／施設単位の請求書発行機能／訪問診療に係る記録書の登録機能／在宅医療で必要な医療文章の作成　など

セコム医療システム株式会社
［ソリューション本部 九州営業所］〒812-0025　福岡県福岡市博多区店屋町1-31 博多アーバンスクエア4階B号

http://medical.secom.co.jp
E-mail ke-dairokuno@healthcarenet.jp
TEL 092-409-9842 担当／大六野（だいろくの）